

福井県公安委員会 開催概要

平成31年4月4日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 学校体育館等の駐車車両を対象とした連続車上ねらい事件の検挙

県警察から、学校体育館等の駐車車両を対象とした連続車上ねらい事件の検挙について報告があった。

委員から「被害が広域に及んでいる事件であり、関係県警察との連携も大変だったのではないかと。福井県警察で検挙することができ、良かった。」との発言があった。

委員から「今回の事件はドライブレコーダーの効果が非常に大きかった。交通事故だけでなく、犯罪の検挙や防止にも効果があることが示された事件であったと思う。」との発言があった。

委員から「検挙自体はもちろんであるが、余罪を引き出す捜査力もすばらしいと思う。結果的に他県警察の捜査にも協力できた。この捜査力を今後も安全安心のために発揮していただきたい。」との発言があった。

(2) 狩猟期間の結果及び銃砲刀剣類・火薬類対策

県警察から、狩猟期間の結果及び銃砲刀剣類・火薬類対策について報告があった。

委員から「本年度も狩猟期間中に事件・事故が無かったことは良かった。銃砲刀剣類の所持許可数は年々減少しているとはいえ、かなりの数であるため、狩猟期間後も引き続き適切に管理願いたい。」との発言があった。

委員から「銃砲刀剣類の一斉検査は非常に重要な検査である。保有者の高齢化に伴い、認知機能検査が行われていることは、大変良いことだと思う。今後も適切に実施していただきたい。」との発言があった。

委員から「銃や火薬類は、事故が発生した場合に必ず大きなニュースになる非常に重要度の高いものである。その重要性を再認識して、毎年検査や指導を継続していただきたい。」との発言があった。

(3) 入・進学期における児童等の交通事故抑止対策

県警察から、入・進学期における児童等の交通事故抑止対策について報告があった。

委員から「きめ細かい対策を実施していただいていることに感謝する。児童・生徒に対する交通安全活動は大変だと思うが、見守り隊等のボランティアと連携して、しっかりやっていただきたい。」との発言があった。

委員から「当県の児童等の交通事故件数が少ないのは、長年の取組の成果が出ていると思う。今後も継続して幼年期からの交通安全教育を強力に進めていただきたい。」との発言があった。

委員から「交通安全教育の対象を、幼稚園・保育園まで年齢を下げることにより、交通安全の意識を更に高めることができるのではないかと思う。また、運転者側にもゾーン30等の交通規制の浸透を図ることで、更に子供の事故は減少するのではないかと思う。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 公文書公開決定等報告書（2件）

警察本部長に対する情報公開請求2件(本年3月15日及び同月18日付け)について、公開決定及び一部公開決定の報告を受けた。

(2) 定期監査の結果に基づく措置

県監査委員による定期監査における指摘事項に関する措置状況について報告を受け、これを決裁した。

(3) 福井県公安委員会等手数料徴収条例の一部改正

6月定例県議会に提出予定の、福井県公安委員会等手数料徴収条例の一部改正について説明を受け、これを決裁した。

(4) 行政訴訟事件の応訴体制変更

人事異動に伴う運転免許取消処分取消請求事件に係る指定代理人の変更等について説明を受け、これを決裁した。

(5) 行政訴訟事件に係る措置

運転免許取消処分取消請求事件に係る措置について説明を受け、これを決裁した。

(6) 審査請求に係る審理手続

運転免許取消処分に対する審査請求に係る審理手続について説明を受けた。

(7) 風俗営業店営業者に対する営業停止処分

風俗営業店営業者に対する営業停止処分について報告を受け、これを決裁した。

(8) 放置違反金滞納処分に係る滞納処分職員の指定等

人事異動に伴う放置違反金滞納処分に係る滞納処分職員の指定及び指定解除について説明を受け、これを決裁した。

(9) 警察職員の援助要求

三重県公安委員会からの警察職員の援助要求について説明を受け、これを決裁した。

3 運転免許の処分関係

本日（4月4日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取13件の実施結果と処

分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。